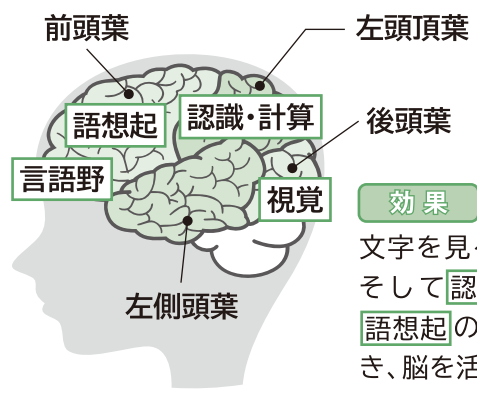


上松先生と



VOL.28

今回のテーマ 文字の連想で 脳刺激



声に出しながら早く連想をしましょう。



効果

文字を見るため視覚の後頭葉、そして認識や計算の頭頂葉、語想起の前頭葉(前頭前野)が働き、脳を活性化します。もちろん、発声しますので、前頭葉の言語野も働きます。

トレーニング内容 下記の連想をしましょう。

A 次の □ に共通した文字を挿入し語句を完成しましょう。

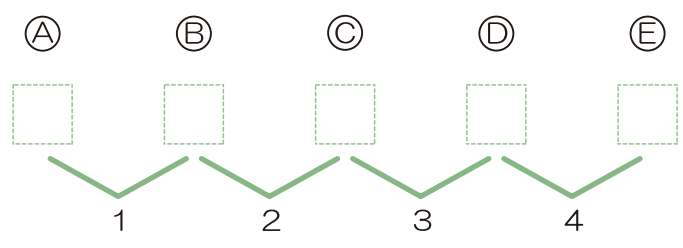
1. ① バ □ □
- ② カ □ □
- ③ ガ □ □

2. ① ブ □ □ □ ド
- ② フ □ □ □ グ
- ③ アイ □ □ □

B 次の □ に当てはまる1～5の数字を引き出しましょう。

答えは2通りです。

□ と □ の間に、数字の差を示しています。例えば、(A) と (B) の数字の差は「1」です。



連想と計算で脳を活性化させましょう！

和歌山県立医科大学
上松 右二 名誉教授

$$\begin{aligned}
 5 = \text{E} \quad 1 = \text{D} \quad 4 = \text{C} \quad 2 = \text{B} \quad 3 = \text{A} \\
 \text{or} \\
 1 = \text{E} \quad 5 = \text{D} \quad 2 = \text{C} \quad 4 = \text{B} \quad 3 = \text{A}
 \end{aligned}$$

答え